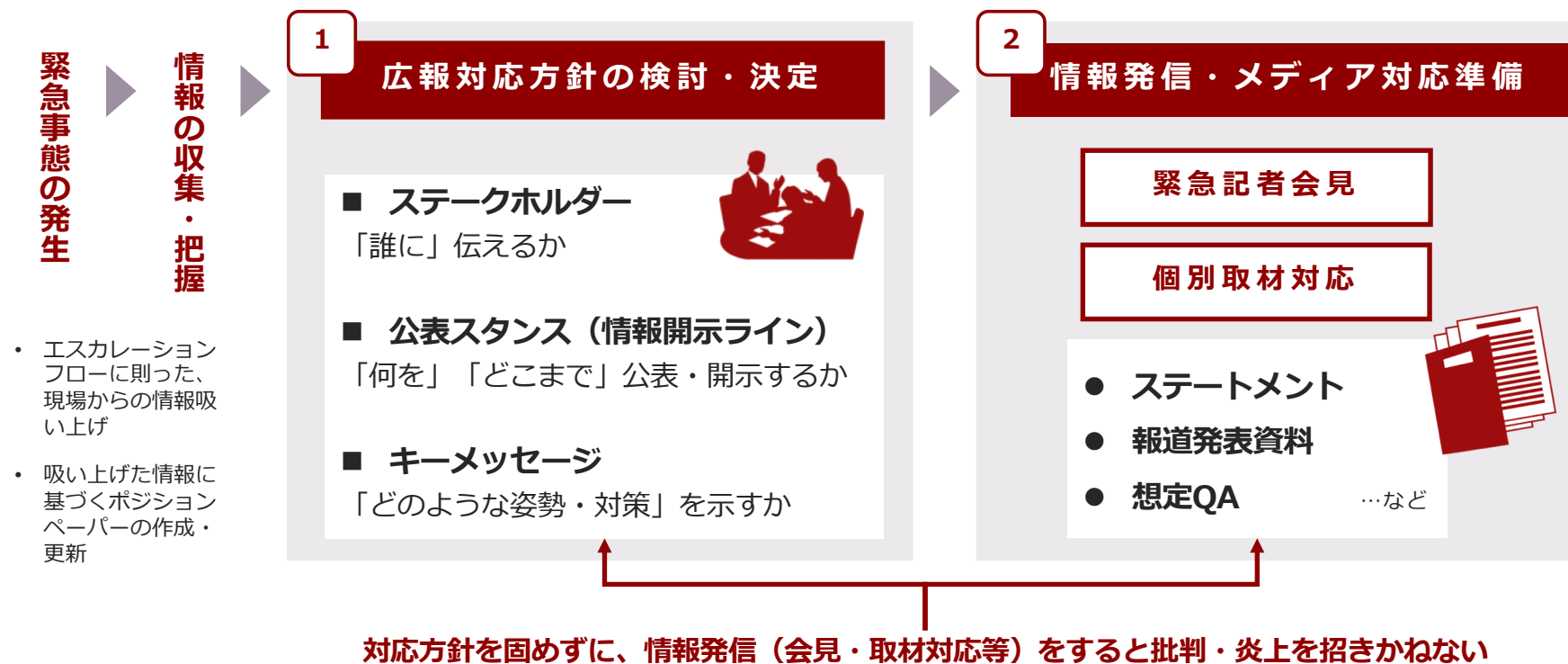


緊急時の対応方針検討 実践講習

緊急対応方針検討・決定のワーク&ディスカッション

緊急事態が発生し、記者会見や取材対応を行う際には、発生事象の情報を急ぎ収集・把握すると同時に、メディア対応という情報発信まで見据えた方針を、組織内部で検討・決定しておくことが重要です。方針決定のための会議運営と検討、それらに基づく資料作成などのプロセスを体験する実践型講習を提供します。

< 緊急時の広報対応フローにおけるの方針検討・決定の位置づけ >



緊急時の対応方針検討 実践講習① 緊急時の広報対応方針検討WS

危機事案への広報対応方針を検討・決定するプロセスを ワーク、ディスカッションで体験（登壇者&広報担当者向け）

緊急事態の想定シナリオや実際の事例に基づいて、

事実経過の【情報整理】、【ステークホルダー】【見解と公表スタンス】【キーメッセージ】の確認・検討といったフローを、個人ワークまたはグループワークと、討議を組み合わせて進め、実践を通して緊急時の検討ポイントを理解するプログラムです。

< 緊急時の広報対応方針検討WSの流れ・タイムライン目安 > 110分程度



広報対応方針に基づく報道資料作成ワーク（広報担当者向け）

過去に起きた緊急事態案件をアレンジした想定シナリオと、その広報対応方針に基づいて、記者会見や個別取材対応といった情報発信・メディア対応で必要となる資料等の作成を、グループワーク形式で実施します。

【ステートメント】【報道発表資料】【想定Q A】の準備など、広報実務として必要なスキルを醸成・確認できるプログラムです。

< 緊急時の報道資料作成ワークの流れ > 180分程度

